

院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコル（柏原薬薬連携版）

市立柏原病院

（処方変更に係る原則）

- 先発医薬品において「変更不可」の欄にチェックがあり、かつ保険医署名欄に処方医署名又は記名・押印ある場合は、処方薬を後発医薬品に変更できない。
- 「含量規格変更不可」又は「剤形変更不可」の記載がある場合は、その指示に従う。
- 処方変更は、各医薬品の適応及び用法用量を遵守した変更とすること。また、安定性や溶解性、体内動態を考慮し、利便性が向上する場合に限る。
- 患者に十分な説明（服用方法、安定性、価格等）を行い、同意を得たうえで変更する。

1. 各種問い合わせ窓口（市立柏原病院）

① 疑義照会（診療、調剤に関する疑義・質疑に関すること）

平日 薬剤科（FAX：072-970-0700）

土曜日 薬剤科（FAX：072-972-0944）

（TEL：072-972-0885）

※土曜日はFAXに加え、電話連絡もお願いします

② その他のお問い合わせ（診療・副作用・調剤過誤などに関すること）

薬剤科まで電話連絡をお願いします。

② 簡素化プロトコル（事後報告）

薬剤科（FAX：072-972-0944）

Dr.JOY（医療情報共有システム）登録薬局は、薬薬連携機能を利用した、トレーシングレポート、処方変更報告での報告が可能

2. 受付時間（市立柏原病院）

① 処方箋の疑義に関すること

平日：午前8時30分から午後5時まで

土曜日：午前8時30分から午前12時まで

※受付時間外で緊急時の場合は、電話連絡をいただけましたら、対応できる場合がありますが、原則、薬剤師不在の場合は不可となりますのでご了承をお願いします。

3. プロトコルに基づく処方変更・調剤後の連絡

本プロトコルに基づく変更の連絡は、事後報告を認めるものですが、下記のルールは順守してください。

- 処方変更し調剤した場合は、初回のみ「事後報告連絡書」に変更内容を記載しFAX

してください。（原則として処方せん受付当日中に FAX してください。）

（処方せん受付から概ね 1 週間以内に FAX してください。）

4. 疑義照会不要の例（ただし、麻薬、抗悪性腫瘍薬に関するものは除く。）

① 銘柄の変更

例)

アムロジン錠 2.5mg→ノルバスク錠 2.5mg

ただし、当該薬品に「変更不可」の指定がある場合には対象から除外する。

後発医薬品から先発医薬品への変更は対象から除外する。

用法・用量（原薬量）が変わらない場合のみ、変更可とします。

患者に説明（価格・服用方法など）のうえ、同意を得てから変更してください。

漢方薬については、同じ名称であっても、組成が異なりますので、疑義照会をお願いします。

② 剤形の変更

例)

タケプロン OD 錠 15mg↔・タケプロンカプセル 15mg

錠剤・カプセル↔・散薬・水薬は変更不可 疑義照会をお願いします。

内容薬かつ用法用量が変わらない場合のみ可とする。

当該薬品に「剤形変更不可」の指定がある場合は対象から除外する。

対象は内容薬に限り外用薬、注射薬は対象から除外する。

（軟膏↔・クリーム、インスリンデバイスなどは対象外）

患者に説明（価格・服用方法など）のうえ、同意を得てから変更してください。

③ 成分が同一の規格変更

例)

5mg 1回2錠↔ 10mg 錠 1回1錠

40mg 錠 半錠↔ 20mg 錠 1錠

ただし、規格により適応が異なる場合は対象から除外する。

当該薬品に「含量規格変更不可」の指定がある場合には対象から除外する。

用法・用量（原薬量）が変わらない場合のみ、変更可とします。

患者に説明（価格・服用方法など）のうえ、同意を得てから変更してください。

製剤の安定性、体内動態も考慮して行ってください。

④ 半錠・粉碎・混合（逆も含む）

例)

(粉砕) チラーヂン S 錠 50 μ g 1.25 錠

→チラーヂン S 錠 50 μ g 1 錠+チラーヂン S 錠 12.5 μ g 1 錠

保険薬局において安定性データを確認したうえで実施すること。

患者に説明（価格・服用方法・安定性）のうえ、同意を得てから変更してください。

⑤ 一包化（逆も含む）

患者本人や家族、ヘルパー等からの申し出があった場合

一包化により、アドヒアランス向上が見込まれると薬剤師が判断した場合

上記以外の理由の場合、疑義照会をお願いします。

患者に説明（服用方法・患者負担額等）のうえ、同意を得てから変更してください。

保険薬局において安定性データを確認したうえで実施すること。

⑥ 貼付剤や軟膏類の包装、規格の変更

例)

モーラスパップ 7 枚入り 6 袋→モーラスパップ 6 枚入り 7 袋

総量と同じ場合のみ変更可とする。

患者に説明（使用方法・患者負担額等）のうえ、同意を得てから変更してください。

5. その他

*「お薬手帳」「トレーシングレポート」「薬薬連携システム」などを利用した、
服薬情報のフィードバックを積極的にお願いいたします。

6. 運用開始日

2020 年 4 月 1 日

初版 2020 年 4 月 1 日 作成